

タイトル	捨てる神あれば、拾う神あり
ポーランド語のタイトル	Gdy jeden bóg porzuca, inny podnosi
テーマ *	C
名前	ヤゴダ・シムックフ
ポーランド語の名前	Jagoda Szymków
学校名 * 2	ニコラウス・コペルニクス大学
学年	3年生
日本滞在歴	なし

\* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さんにとって、家族はどんな存在ですか？私は最近、実家に帰省して姉に会うのが何よりうれしくなりました。何でも話せる仲になったからです。今日は、私がどうやって家族の大切さに気づいたかお話しします。

数か月前のことです。中学校時代からの親友が理由もなく連絡を絶ちました。何度メッセージを送っても返事がありません。裏切られた思いでした。

「家族は選べないけど、友達を選べる」。そう思っていた私の考えは変わりました。

私が相談相手に選んだのは、それまでけんかばかりしていた姉でした。思い切って友人関係の悩みを打ち明けると、「私も高校時代、同じような経験があるわ」。真剣な顔で耳を傾けて、励ましてくれました。

「関係が変わっても、それが悪いとは限らないよ」。

優しい言葉をかけられて、私は気が楽になりました。日本語のことわざで言えば、「捨てる神あれば、拾う神あり」の心境でした。

「親友を失ったのは残念だけど、新しい人に出会う時間はたっぷりある」

前向きに考えて、立ち直ることができました。

それ以来、姉と私は心を通わせ、助け合うようになりました。両親がいつも私たちを見守ってくれていることに気づいたのも姉のおかげです。

「血は水よりも濃い」とは言っても、家族の関係を良くするために、やはり努力が必要です。

私は、クリスマスプレゼントに感謝の気持ちをこめるようにしています。その年に撮った家族の写真を元にして、私が絵を描いて渡します。皆とても喜んでくれます。去年は手編みのセーターを姉に贈りました。編むのに三か月かかりましたが、姉は冬の間ずっと、嬉しそうに着ていました。感謝の気持ちを私に伝えたかったのだと思いますが、もっとうれしかったのは私の方でした。姉のやさしさを毎日のように感じる事ができたからです。

皆さんは、友達と家族の違いは、何だと思いますか。アメリカの作家ニコラス・スパークスによれば、たとえ関係が壊れかけても、元通り強くなるのが家族です。どんなにそれが大切なものか理解した時に絆は、ますます深まります。土砂降りの雨が止んで、雲に隠れていた太陽が顔を出すように。

ご清聴ありがとうございました。

#### Streszczenie (60-70 słów)

W mojej przemowie dzielę się osobistym doświadczeniem, które wpłynęło na poprawę relacji z moją starszą siostrą, a co za tym idzie, również z moją rodziną. Opowiadam, jak stałyśmy się dla siebie wsparciem. Podkreślam znaczenie wzajemnej pomocy, wdzięczności i doceniania bliskich na co dzień. Zwracam uwagę na to, że rodzina to nie tylko więzy krwi i zachęcam słuchaczy do pielęgnowania relacji z bliskimi.